



NEWS RELEASE

ヤマトホールディングス
ヤマト包装技術研究所株式会社
2019 年 8 月 29 日

ヤマト包装技術研究所の開発した球根栽培キット用梱包資材が
「2019 日本パッケージングコンテスト 包装アイデア賞」を受賞
～同コンテストにおいて 3 年連続 4 度目の入賞～

ヤマトホールディングス傘下のヤマト包装技術研究所株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：大下義美 以下 YPTI）は 2019 年 8 月 29 日、公益社団法人日本包装技術協会（JPI）主催の「2019 日本パッケージングコンテスト（第 41 回）」において、出品した梱包資材の独創性や梱包技術を評価いただき「包装アイデア賞」を受賞しました。YPTI としては、3 年連続 4 度目の入賞となります。

記

1. 日本パッケージングコンテストについて

日本の優れたパッケージングとその技術の開発・普及を目的とした、公益社団法人日本包装技術協会が主催するコンテストです。包装におけるデザインからロジスティクスに至るまでを網羅した 11 の審査項目により、その年の優秀な包装作品を表彰しています。

2. 受賞内容

- （1）審査結果：包装技術賞 包装アイデア賞
- （2）入賞作品：『球根水耕栽培キット商品の小型化二形態式パッケージ』
- （3）評価ポイント：
 - コスト削減および輸送効率向上、さらには球根の商品価値持続化に貢献したこと。
 - ① 外箱を 3 部品構成から 1 部品にしたことで、容積を 48%削減しコンパクト化
 - ② 植物が成長した際、外箱の蓋を立ち上げるだけでハンドキャリー型に変形が可能



内箱は最上部に穴が開いており植物の成長を妨げない仕様
(輸送時はシールで容器内の水漏れを防ぐ)



3. 開発背景

YPTI は、富山県にて球根の生産・販売を行っている富山県花卉球根農業協同組合様の販路拡大をサポートするために、本作品を開発しました。通販などの販路拡大のためには、球根の商品価値を長持ちさせること、また輸送時に商品をコンパクトにして輸送効率を図る必要があります。今回開発したパッケージの内箱は、球根を固定しながら水が入った状態で輸送でき、球根の劣化を防止、輸送後もそのまま栽培できる容器です。また外箱は、箱型にもハンドキャリー型にも形状を変化させることができ、輸送時はコンパクトに、店頭で球根の芽が伸びてきたらハンドキャリー型に変化させ、輸送効率および球根の商品価値の持続化を実現しました。

富山県花卉球根農業協同組合 <http://www.tba.or.jp/>

4. 今後の展望

YPTI は輸送に関する様々な包装資材を開発し、輸送品質の向上、作業改善、流通コスト削減など、お客様のニーズに合わせた最適なお提案を行ってきました。今後も梱包技術を極めることで、お客様の商品価値の向上に貢献してまいります。

5. 日本パッケージングコンテスト入賞経歴

2011 年 ロジスティクス賞『リターナブル包装資材フリックス タイプ 12』(YPTI)

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2011/052.html>

2017 年 ロジスティクス賞『プラグトレイ汎用パッド』(YPTI・有限会社グローイング・マック)

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2017/051.html>

テクニカル包装賞『段ボール製保冷箱』(YPTI・凸版印刷株式会社)

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2017/017.html>

2018 年 電気・機器包装部門賞『ゴルフ用レーザー距離計商品パッケージの小型化』(YPTI・㈱ニコンビジョン)

<http://www.jpi.or.jp/saiji/jpc/2018/115.html>

参考 URL : 公益社団法人 日本包装技術協会 2019 日本パッケージングコンテスト

<http://www.jpi.or.jp/saiji/seminar/2019/0829.html>

以上

【お問合せ先】

報道機関の方 : ヤマトホールディングス(株) 広報戦略担当 杉本 (03-3541-4141) まで

一般の方 : ヤマト包装技術研究所(株) 牧岡 (03-6756-7200) まで